

～思いは一つ～ 「原点を忘れず新たな挑戦を！」



一年を通じて令和の日々が刻まれる最初の年、令和時代初の新春を迎え、皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

令和元年、日本で初めてラグビーワールドカップが開催されました。「OneTeam」のスローガンのもと、日本中が一つとなった戦いに、皆様も胸を熱くされたことでしょう。今年はオリンピック・パラリンピック大会が、56年ぶりに東京で開催されます。山口市ゆかりの選手が続々と出場を決めるなど、今年もスポーツから目が離せません。ラグビーにせよ、オリンピック・パラリンピック大会にせよ、スポーツを支えるのは「健康」です。「健康」はまた、私たちの日々の生活や、様々な活動の基盤となります。

令和元年に創立20周年を迎えた七夕会は、次の10年に向けて新たなスタートを切りました。節目の総会においては会則第2条の「目的」を改定し、「郷土山口市の発展に寄与する。」を最初に掲げました。山口市への思いは一つ。東京オリンピック・パラリンピック大会の年に、全国の七夕会会員が山口と東京を両輪として「OneTeam」となり、「健康と活力を大切にすること」を第一に考えながら、山口市の発展に寄与すべく新たな挑戦を展開していきましょう。会員の皆様のご理解とご支援、一層のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

令和二年(2020年)1月

山口七夕会
会長

< 七夕会通信1月号・同封物リスト >

- 市報「やまぐち」(10月1日号、11月1日号、12月1日号、1月合併号)
- 2月8日(土)令和元年度ふるさと山口本部楽農部会「徳佐の冬を楽しむ会」(ご案内)
※裏面「出欠連絡票」
- 3月7日(土)令和元年度ふるさと山口本部「第4回酣-Takenawa-祭」(ご案内)
※裏面「出欠連絡票」
- 3月14日(土)令和元年度本部「春の交流会」(ご案内) ※裏面「出欠連絡票」
- 維新碑探訪 長州人の生きた道 DVD ご案内

☆七夕会通信では、掲載されている写真はモノクロとなっておりますが、後日七夕会ホームページには同じ写真がカラーで掲載されます。是非そちらもご覧ください。

< 目 次 >

頁1	八木会長挨拶/同封物リスト
頁2	目次
頁3	【追悼】原野和夫顧問(初代会長)、山縣正彦顧問(第二代幹事長)
頁4~5	【遺稿】山縣正彦顧問(『絆』あるを信じて&ガタさん里帰りフォトアルバム)
頁6	【報告】ふるさと山口本部 秋の講演・交流会
頁7	【報告】本部 秋の交流会・講演会
頁8	【新役員寄稿】「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」に参加して
頁9	【新役員寄稿】「故郷 山口市魅力発見の旅」
頁10	【手記】海上自衛隊及び米海軍横須賀基地見学記
頁11	【手記】本部ゴルフ同好会「第3回八木重二郎杯」
頁12	【手記】レノファ山口応援記
頁13	【会員からの情報】「パラバドミントンスマイルカップ 2020」のご案内
頁14	【お知らせ】法人会員募集/原稿募集/七夕会関連 SNS のご案内
頁15	【お知らせ】新会員・法人会員の皆さん
頁16	【お知らせ】イベント情報

追悼



2019年11月9日、山口七夕会初代会長の原野和夫顧問が逝去されました。91歳でした。

<ご経歴>

原野顧問は1928年(昭和3年)の山口市生まれ。1950年東京大学農学部卒業。同年時事通信社入社。那覇特派員、海外部長、編集局長を経て代表取締役社長に就任。時事通信社取締役社長退任後の1991年にパシフィック野球連盟(パ・リーグ)第8代目会長に就任し、2000年にご退任。1986年にはフランスのレジオン・ドヌール勲章を受章されています。

原野会長時代のパ・リーグは、激動の時代でした。就任直後の1991年7月31日、それまで川崎球場を本拠地にしていたロッテが千葉へ移転を表明、翌年から千葉マリンスタジアム(現ZOZOマリンスタジアム)を本拠地とすることになります。

1993年、NPBはFA(フリーエージェント)制度を導入。以後、パ・リーグからセ・リーグの有力球団に主力選手の移籍が続出します。

1994年9月20日、オリックスのイチロー選手がNPB初のシーズン200安打を記録し、イチロー選手の特別表彰と翌年から「最多安打」をNPBの表彰記録(=タイトル)とすることが決定します。

1995年1月9日、近鉄の野茂英雄が任意引退選手として公示され、その後紆余曲折の末、野茂選手は近鉄を退団。野茂選手は2月8日にロサンゼルス・ドジャースとマイナー契約をします。

1996年オフにはロッテの伊良部選手がFA資格取得前にMLBに移籍することを球団に訴えます。こちらも紆余曲折の末、伊良部選手のヤンキース移籍が決まります。野茂選手と伊良部選手の移籍騒動が発端となり、1998年に日米間で「日米間選手契約に関する協定」が調印され、ポスティングシステムが導入されました。

<七夕会と原野顧問>

原野顧問は、1999年2月の七夕会創立時より初代会長を務められ、2009年7月に八木重二郎現会長にバトンを引き継がれます。原野顧問は七夕会における10年以上の会長職在任のご功績を讃えられ、2019年8月の総会で山口市から功労者表彰を受賞されました。原野顧問の七夕会への思い、メッセージは、七夕会ホームページに掲載してある5周年記念誌や10周年記念誌等でご一読いただけます。

なお、令和2年2月28日に帝国ホテルにおいて、時事通信社主催のお別れの会が開催される予定です。謹んで原野顧問のご冥福をお祈りいたします。



2019年12月21日、かねて病気療養中であった山口七夕会第二代幹事長の山縣正彦顧問が逝去されました。64歳でした。

山縣顧問は、2009年から2019年まで幹事長を務められたご功績を讃えられ、2019年8月の総会で山口市から功労者表彰を受賞されました。

なお、山縣顧問が代表を務めておられたNPO団体の主催により、2月にお別れの会が開催される予定です(本稿作成段階では詳細未定)。

謹んで山縣顧問のご冥福をお祈りするとともに、次ページ以降に山縣顧問からのメッセージを原文のまま掲載させていただきます。

遺稿

～未知なる『がん』との共生の道～ 『継』 あるを信じて！

故・山縣 正彦様(会員No.226)

平成30年秋の腎臓の血液検査の結果で、クレアチニンの数値が上昇、ホームドクターの奨めで武蔵野日赤病院にて経過観察、CT・MRI 検査の結果、2月1日に「ステージ4の末期がん」と宣告を受けました。

急ぎ、国立がん研究センター中央病院に転院し、3月末から抗がん剤投与と転移した脳のがん細胞に対し、放射線投射を開始しました。

4月6日には脳への放射線投射の副作用で脳梗塞を発症、5月1日に令和の時代と共に退院、5月7日から職場復帰しました。

しかし、抗がん剤治療が一定の効果はあったものの残念ながら功なく、副作用もあって体重が58kgまで(高校1年当時の体重)、20kg以上減少して体力の消耗もあり、6月末で抗がん剤治療を断念、ステロイド剤投与による副作用の抑制を図りました。

8月には、猛暑と脱水で熱中症を発症、緊急搬送もあり、さらなる体力の消耗から8月30日に主治医と面談し、①積極的な抗がん剤治療は行わない。②緩和治療(緩和ケア)に移行する。③余命数か月、と通告を受け、了承しました。

さっそく、緩和ケアの病院を斡旋いただき、運よく、9月18日には、自宅に最も近い、緩和治療、緩和ケア(ホスピス)の日の出ヶ丘病院に転院し、快適な環境のもと静養していました。

その後も、波乱万丈、ギックリ腰などもあり、徐々に体力の消耗、記憶障害も急速に進行、体力の回復を図って日の出ヶ丘病院緩和ケア病棟にて静養しながら療養しています。

《決意と覚悟》

なんか吹っ切れた感じもあり、主治医からも

「新しい年を迎えられるといいね。」「そうですね。」「と笑いあっています。10月には伊豆大島の一泊二日(中もと伊豆大島)、山口二泊三日の旅行も行ってきました。

65歳からのシニア立志！あれもこれもと考えるてはいましたが、残念です。

諸行無常、あすをも知れぬ人の世、限られた時間と空間の中で、夢遙か也！

夢と希望を持って一分一秒でも長く、一步でも前に進む覚悟です。みなさんの応援をお願いします。

引き続きよろしく願いいたします。

《八木重二郎・会長からいただいた言葉》

希望を星につなげ！

一日一善

One Team



☆この寄稿文は、山縣さんが2019年の12月上旬にまとめられたものです。遺稿となりましたが、山縣さんのご遺志により、原文のまま、次ページの田村幹事作成のアルバムとともに掲載させていただきます。
山縣さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

ガタさん里帰り Photo Album 山縣正彦顧問 山口市での3日間

令和元年11月6日から8日の2泊3日で山縣前幹事長（以下ガタさんと呼ばせて下さい）が山口市に里帰りました。闘病中のガタさんは主治医の紹介状を常に携帯しての「万が一もあり得る」旅でしたが、多くのおみなさまの心温まるお出迎えと新しい出会いに溢れた、賑やかで楽しい里帰りとなりました。ここでは随行（引率？）した田村が撮影した写真を通してガタさんの3日間をご紹介します。

写真と文 田村廣修



← ↓ 11月6日 17:00
山口市庁舎に渡邊市長を表敬訪問
急なアポにも関わらず快くお会い頂き、「山縣君、元気で頑張れ、また来年会いましょう!」と暖かい激励を頂戴しました。



↓ 11月7日 19:00~
この夜は今回の山口訪問で最も多忙な夜に! ①まずは居酒屋「土火土火」にて同級生が集まるはずが、なぜか会場には幹事原正彦さん(左から3人目)のみ。その後ちひろさん(右から3人目)と長尾マネージャー(左から2人目)が駆けつけて下さり、賑やかに乾杯!となりました。②この日のお宿は老舗の山水園。代表取締役の中野愛子さんに貴重なお話を伺い、記念品を贈呈。③宿に同級生が駆けつけてくれました。しばらく話し込んで、帰りにパチリ!④やっぱり最後はジョルジュムスタッフで締めNight! ちひろさんたちもお付き合いました。



↑ 11月6日 19:30
「福の花 湯田本店」にて、「ガタさんを励ます会 オフ会」
七夕会員や市役所職員の方々と旧交を温めました。



← 11月7日 10:00
秋晴れの長門峡を訪問。
関貴和さん(右)と兄の山縣信彦(左)さんは山口高校の同期で、数年ぶりの再会とのこと。

↓ 11月7日 12:30
関さんの農園で待望のBBQ~
車エビや高級阿東牛に感激!!



← 11月8日 10:45
「山頭火」の金光酒造を電撃訪問。
驚きつつも金光明雄社長(中)と奥様(右)が歓迎して下さいました。

↓ 11月8日 11:35
新幹線の発車時刻が迫る中、秋穂の「あいお荘」を訪問。上村浩司社長(右)にご挨拶しました。



←11月8日 11:50
お忙しい中を入江幸江市議会副議長(右)が見送りに駆けつけて下さり記念撮影。この後、兄信彦さんの運転で新山口駅にもどり、無事帰京することができました。みなさまありがとうございました!!

令和元年度 ふるさと山口本部 秋の講演・交流会 報告

ふるさと山口本部事務局長 吉松 勇(会員No.459)

11月16日(土)午後6時より、山口市セントコアにて山口七夕会ふるさと山口本部主催の秋の講演・交流会が開催された。山口市内外より山口七夕会会員を中心に50名程度が参加した。



瀬川本部長の開会挨拶の後、来賓の伊藤和貴山口市副市長より、ふるさと創生に関する直近の山口市の取り組み状況が簡単に紹介され、その後の講演会と続いた。



今回は、大内氏とゆかりの深い興隆寺の市原修俊住職から「氷上山興隆寺北辰妙見社について」と題する講演があった。始めに寺院建築、梵鐘の



特徴、大内氏とのかかわりに関する歴史などについてビデオ視聴した後、住職からのご講演を拝聴した。この興隆寺は、室

町時代より大内氏からの積極的支援の後、江戸時代には毛利氏の保護も受け、最盛期には常に500

名以上の僧侶が100棟以上の寺院、宿坊に在し、ひとつの集落の様相を呈するほどの盛況ぶりであった。しかし、明治維新後は個々人の檀家がいなかったこともあって、衰退の一途をたどっていった。特に近年においては、建物の老朽化が著しく、修繕のための周辺地域からの寄付も細る中、インターネットを通じた募金活動の一種であるクラウドファンディングを開始したところ、全国各地から建物の修繕資金が集まるようになり、一筋の明かりが見えてきたとのことであった。

続く交流会では、申神副本部長による挨拶乾杯の後、会場セントコア料理長のお得意メニューを堪能しながらの参加者間交歓・交流が行われた。恒例のじゃんけん大会では、セントコアからの入浴回数



券の差し入れや清酒、楽農部会からの徳佐米などを景品に十数回のじゃんけん熱戦が繰り広げられた。今回は、楽農部会長の関役員より、おいしいと評される徳佐米の中でも、特に美味しい銘柄の所以も聞きながら、まさに手に汗握るじゃんけんが繰り広げられた。

最後に、講師謝金を固辞される市原住職に対し、謝金相当額を寄付金として瀬川本部長から贈呈し、秋の講演・交流会が締めくくられた。



本部秋の交流会「日本サッカー協会・小倉純二最高顧問ご講演」

令和元年10月19日、山口七夕会設立20周年記念行事として、小倉純二日本サッカー協会最高顧問の講演会が開催された。場所は六本木のキーストンクラブ(本店は徳山)、お洒落な店で夜になるとジャズやシャンソンのライブが行われる。七夕会の会員だけでなく、会員以外の方たちも多数参加され、約60名の集いとなった。

小倉氏の日本サッカー協会会長時代、なでしこジャパンがドイツワールドカップで優勝した。なでしこがVロード凱旋中、一人一人とこやかに握手している姿が、TV画面に映し出されたことを思い出す。また、FIFAの理事時代は世界中を飛び回られ、日本のサッカーだけでなく世界のサッカーの発展に貢献された。

講演の題目は「夢があるから強くなる～平成日本サッカー秘史」。冒頭にFIFA(国際サッカー連盟)について話された。1904年に設立され、本部はスイスのチューリッヒにあり、加盟協会



数は211協会。スローガンは「For the Game. For the World」。2026年からワールドカップ本選出場チームは現在の32から48になるとのこと。

次に日本サッカーの歴史について写真を映し出しながら説明された。なでしこジャパンのルーツは、香川県立丸亀高等女学校運動会でのフットボール・もんぺ姿の女学生の姿には躍動感を感じる。最近の写真では、ワールドカップ終了後、各国の女子選手たちが握りしめた横断幕に、次のようなことが書かれていた。「To Our Friends Around the World. Thank You for Your Support.」

男子では西野ジャパンのロシアワールドカップで、試合終了後サポーターたちがごみ拾いをする姿が話題となった。さらに目を見張ったのは選手がロッカーを引き払った際、見事なまで部屋を清掃した写真であった。ベルギー戦の悔しい逆転負けの後だけに、日本人に宿る美しい心が世界から称賛された。

続いてサッカーを核としたまちづくり。レノファ山口を応援するわれわれもぜひ参考にしていきたい。

1. Jリーグの願いは「あなたの町にJリーグクラブがあればホームチームの応援ができ、支え合える。チー



ムの話が家族や地域のコミュニケーションの促進につながる。」1993年10チーム、2019年55チーム。

2. Jリーグ百年構想「スポーツでもっと幸せな国へ」最後に大成功に終わったラグビーワールドカップについて補足された。国際的に人気のある祭典は、サッカーワールドカップ、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック。2年続けてスポーツの祭典が開催される日本は、大変素晴らしく幸せな国である。

講演後多くの方たちから質問があった。その中で皆が不思議に思うであろう、小倉氏は何故サッカー選手でないのに日本サッカー協会の会長に上り詰められたか・・・その場で丁寧に回答されたが、詳しいことは4月に講談社から出版された著書「平成日本サッカー」秘史に込められている。



まえがきに次のようなことが書かれている。

老婆心かもしれないが、現在の恵まれた環境が所与のように思われて、「W杯？出られて当たり前でしょ」「アジアカップ？優勝して当然でしょう」というような驕りを感じることもある。これまで成功したから、これからも成功するとは限らないのに。

低迷期を知る者としては、大きなビジョンと具体的な目標を掲げ、謙虚に周囲に理解を求め、賛同者を増やし、一つ一つの課題を解決し、着実に前に進むことが、今日の隆盛を次の時代につなげる上で一番大事なことに思える。

小倉さんのお言葉はサッカーファンのみならず、我々が次の世代に何をどのように残していかなければならないか、奥深い示唆を与えてくださった。

講演後の交流会ではじゃんけん大会で小倉さんに全員が挑戦し、10人の方たちがJFAグッズを手に入れられた。また歌手の関周さんは円熟した歌声を披露され、最後は山口市民の歌を合唱し、なごやかな雰囲気の中に交流会を終えることができた。



後日小倉さんにお礼のメールを差し上げたところ、次のような返信をいただいたことを追記する。

「色んな人が集まって、たいしたものと思いました。お話が出来て、光栄でした!」

東京やまぐちフェスタ 2019「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」に参加して

本部・幹事 岡本達也(会員No.670)

今年も恒例の「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」が三軒茶屋ふれあい広場で9月15日(日)、16日(祝)の2日間、盛大に開催されました。主催は、首都圏ー山口ネットワーク推進協議会で、今回が5回目となります。県内の14もの企業・団体がブースを展示し、山口市からは、金光酒造さんの「山頭火」、山口ごま本舗さん、とくじ味噌さんの展示に加え、湯田温泉旅館協同組合さんから「ゆう子」も駆けつけてくれました。



観光パフォーマンスの1日目(15日)は、サボテンブラサーズのラテン系アコースティックユニットで盛り上がりました。リーダーの川本さんは岩国市出身です。金子みすゞの詩に作曲し歌うシンガーソングライターの山口市出身のちひろさんの歌に、下関出身の歌手の吉村ちえこさんの歌に聴き入りました。2日目(16日)は、山口ゆめ花博でも書道パフォーマンスを披露してくれた書家の玲泉による「おいでませ山口へ」の力強い書が会場の看板に掲示されました。マジック界のオリンピック「FISM」で世界3位となった実力を持つ宇部市出身のマジシャン高重翔さんのマジックには子供も大人も釘付けでした。さらに、両日



出演の宇部市出身、アニマルバルーンパフォーマーのザッキー岡さんは、次から次へとアニマルを誕生させ、子供たちの大きな歓声を引き出していました。

山口七夕会の参加者は、山口市からの展示のお手伝いをしました。展示のお店の後ろには「山口七夕ちょうちん」を飾りました。今年創立20周年を迎えた山口

七夕会の原点ともいえる、世田谷の馬事公苑で汗と涙と大雨にまみれながら灯された「七夕ちょうちん」です。この話の詳細は、七夕会会報第6号(令和元年9月発行)に馬越さんが『山口七夕ちょうちんまつり in 世田谷』と題して寄稿されています。

私は今年、共に山口七夕会の新幹事となった高校の同窓生でもある村中正司君と金光酒造さんの「山頭火」、山口ごま本舗さん、とくじ味噌さんの展示のお手伝いをしました。「山頭火」を売り切りたい私としては、金光酒造の営業マンの竹中さんや村中君の完売は無理だろうの言葉に奮起し、2日間で完売出来たことは、感慨深いものとなりました。日ごろと違った物販も出来たことは楽しかったです。

また、当日の誘いにも関わらず、同じ高校の同窓生でもある伊藤孝君が馳せ参じてくれ



たこと、さらに、ぶち物品を購入して、ふるさと山口の同窓生のありがたみを痛感しました。

2日間が無事終了し、新幹事の2人(村中、岡本)で反省会を「とり石」という三軒茶屋の有名な焼き鳥屋にて行ったところ、世田谷の岡本さんという方と同席することになりました。お話しすると、さっきまで「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」会場に居らしたらしく、山口七夕ちょうちんの話で盛り上がりました。あの馬事公苑での汗と涙と大雨にまみれながら灯された「七夕ちょうちん」を良く覚えていただいている方がありました。何だか熱いものを感じました。



2日間ではありましたが、改めて、ふるさと山口の魅力を皆様方に紹介できた嬉しさを噛みしめました。

「故郷 山口市魅力発見の旅」

本部・幹事 村中 正司(会員No.706)

山口七夕ふるさと大使の委嘱を受け、何気に山口市の魅力を語れるかと自問自答してみても自由自在に語



れない自分を発見した事から、生まれ育った山口市魅力発見旅に10月に帰って参りました。旅は、高校時代にお世話になった山口線の小郡駅(新山口駅)から汽車に乗って山口駅で下車したところからスタートしました。山口駅に着くと昔は無かった駅うどん屋を発見して肉うどんを堪能し、駅前

でレンタサイクルを借り、先ず最初にふらりと訪れたのが十朋亭、続いて山口菜香亭で

した。高校時代は近くに醤油屋や料亭があったとは全然気が付きませんでした。両施設共に同じ感想でしたが一人旅の自分に対して案内の方が親切に館内を案内して説

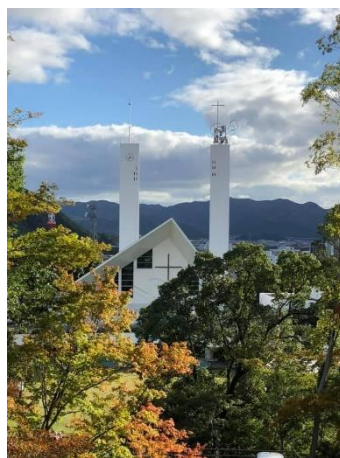


明して下さいました。今まで、各地の観光施設を訪れてきた際には無かった、さり気ないホスピタリティに感動を覚えました。

旅の楽しみは食と言う事で、十明亭の案内の女性の方に、山口市でお勧めのランチ場所は何処ですか？とお尋ねすると、和食は「一水」がお勧めですよと教えて下さいましたが、気分は春來軒だったので今回は瑠璃光寺の五重塔はパスして一の坂川を下り、ばりそばの昼食を取りました。余談ですが自分が未だに瓦そばに馴染み無いように同じ山口県人でも西部エリアの方から言わせるとばりそばは皿うどんの様でたいして美味しいものでも無いそうです。

午後からは、学生時代には高校からタクシーで行っ

ていた湯田温泉エリアを散策しました。山口市ゆかりの井上薫遭難の碑、新しくなった井上公園へ。ただ、新しくなった足湯は場所が判らず諦めました、そして幼稚園時代に嫌々行っていた白石のヤマハ音楽教室の跡地を探しながら、足はそのまはサビエル記念聖堂に向かい、高校以来のリニューアルされた亀山公園で小休止をしました。その時感じた事は、時が都会と違い静かに流れていて心が落ち着くということです。



レンタサイクルを返却する為に道場前を通り抜けて山口駅まで向かいました。自分たちには懐かし三好屋楽器や文栄堂は今も健在なもの、県外からの観光客が喜びそうなお店が少ない印象を感じました。

今回の旅での別の目的は、山口市に住む方々とのオフ会に参加する事であり、夜は山口高校近くの寿司季節料理ひろ志で美味しい料理に舌鼓を打ちながら、YouTubeを活用した湯田温泉のPRをされている方から話を聞いたり、山口市や湯田温泉の活性化の話題で盛り上がりました。山口市に住む面々にも、山口市の魅力について問うたところ、残念ながらこれといったものが無いという答えが大半でした。

今回の第一回山口市魅力発見の旅を終えて自分なりに感じた事は、山口市は派手さは無いがゆったりと時が流れ癒しの街ではないかということです。見るべきもの、訪れるべき所は沢山あるものの、山口市をイメージ出来て万人受けするグルメの存在がありません。ソウルフードからの脱却が、今必要ではないでしょうか？

私は山口七夕ふるさと大使として、山口市への観光客勧誘のためにも、「おいでませ山口市へ」と、宣伝をしていきたいと思っています。

海上自衛隊及び米海軍横須賀基地見学記

宮木 浩(会員No.552)

10月6日(日)13時、JR横須賀駅に八木会長はじめ14名の方々が集合。見学会の始まりです。幹事役は、西村さんです。

ここでエスコート役の池田さんが紹介されました。池田さんは、海上自衛隊(以下、海自といいます。)OBで護衛艦「しらね」の艦長等を歴任されており「スマートで、目先が利いて、几帳面、負けじ魂これぞ船乗り」この言葉



を絵に描いたような方です。本日は、西村さんと同じ会社で勤務されているご縁でご協力を頂いたとのことでした。

まず、一般公開中の海自横須賀基地に入門しました。私たちを迎えてくれたのは、満艦飾が施された艦艫の群れでした。

隊員さんたちの敬礼を受けながら、護衛艦「てるづき」や潜水艦「こくりゅう」に乗艦。艦の装備品等について池田さんから説明を受けました。

次は、イージス艦「ちょうかい」に乗艦。ここでひとつのサプライズがありました。艦の説明の後、池田さんの計らいで士

官室にて艦長と懇談する機会を頂いたのです。艦長は、カラオ



ケの十八番が「吉田松陰」と言われる気さくな人柄の方でした。更にここで二つ目のサプライズがありました。本物の艦長に加え、この日「ちょうかい」の一日艦長を務めておられたミス・ワールド・ジャパンのファイナリスト大野南香さんが懇談の輪へ入られたのです。ちょっぴり締まりのない顔になったのは私だけだったのでしょうか。

懇談を終え、艦長室の見学を経て、艦の操縦室である艦橋へ。ここでは、艦長席に座り、艦の指揮を執る御自分の姿を想像された方もおられたようです。

海自を後にし、米海軍横須賀基地へ向かいました。基地内は、米国法が適用されるエリアであり、入門手続きは、さながら入国審査のようでしたが、池田さんと西村さんのサポートにより皆さんクリアしました。

基地内を散策です。重厚な旧帝国海軍横須賀鎮守府の施設を再利用した米海軍司令部前では掲揚されていた、日の丸、星条旗に加え国連の旗を確認しました。これは朝鮮戦争が、休戦中にすぎず、この司令部が国連軍司令部を兼ねていることの証左です。改めて我が国周辺の安全



保障環境の現実を認識させるものでした。

次いで、艦船を整備するための施設である乾ドックを見学。米海軍艦艇が整備されている姿と、その大きさに圧倒されました。更に、そのうちの一つは幕末に造られたものが今なお使われているとのこと、当時の技術水準の高さに驚かされました。

いよいよ見学会も最終盤。黄昏の米海軍基地に設けられた海自棧橋に係留してあった海自潜水艦の甲板上では日没時間に併せて厳かに国旗降下が行われていました。ラッパ吹奏と当直士官による敬礼を受け降下される日の丸を見送りながら、海自及び米海軍の任務完遂と航海の安全を祈念しつつ本日の見学会は、無事終了しました。

お世話になった池田さん、西村さんありがとうございました。



本部ゴルフ同好会「第3回八木重二郎杯」

本部・副幹事長 藤井 謙志(会員No.611)

令和元年11月22日(金)、山口七夕会親睦ゴルフコンペ“第三回八木重二郎杯”が開催されました。場所は恒例となりました埼玉県の武蔵ゴルフクラブ(旧:武蔵 OGM ゴルフクラブ)、クラブハウスもコースも素晴らしく会員の皆さまのお気に入りのコースのため、毎回ここで開催しております。今回は



コンペ開催日が近づくにつれ降水確率がどんどん高まる上、予想気温もどんどん下がり、予報では当日の気温は8℃、開催か中止かと非常に気を揉む天気予報でしたが、八木会

長の「ゴルフは何があろうとも開催当日は現地に行くことが基本。」とのお言葉で決行の運びとなりました。

今回はご都合の合わない方が多く参加者数は少なかつたものの、雨にも関わらずお集まりになった長州の七人の侍の意気は盛ん、ご参加の皆さまは次の通りでした。(敬称略)

・八木重二郎、奥原保、梅田圭良、利重尚義、久重剛志、武内浩、藤井謙志。

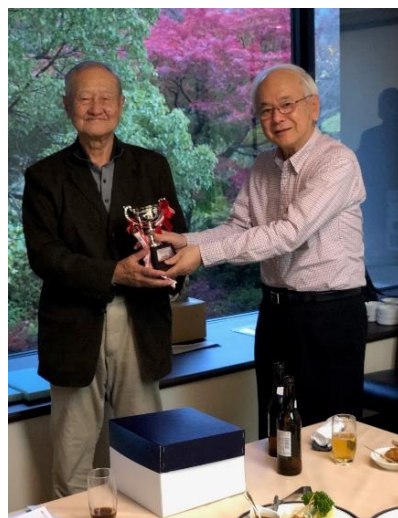


スタート後しばらくして降り始めた雨は降ったりやんだりを繰り返していましたが、昼食を摂るころには本降りとなってしまいました。後半のハーフに出て行くのが躊躇われる程の降りです。幹事としては正直、後半中止の可能性もあるのではと思っておりましたが、何と誰一人中止を口にせず、当たり前のように雨の中を元気にスタートして行かれました。さすが長州男児、おみそれ致しました。

厳しい気象条件の中でプレイした事でメンバーとの一体感も更に強まったのではないのでしょうか? 冷雨のラウンドに耐え、ホールアウトした後の大浴場は天国の様でした。入浴後の表彰式では体も温まり、さっぱりとして和気あいあい会話も弾み実に楽しい締めくくりとなりました。今回は



は参加者中最高齢の梅田圭良さんが第三回八木重二郎杯の優勝者でした。悪天候の中での優勝、本当にお見事という他ありません。おめでとうございました。



次回は2020年5月頃の開催を予定しております。参加をご検討の方は山口七夕会までお問合せ頂ければ幸いです。皆さまのご参加をお待ちしております。

レノファ山口応援記

評議員 大田 宗(会員No.424)

東京在住のレノファ山口ファンにとって、現地で応援できるのは、年間42試合中9試合。日帰りで足を伸ばせばという前提ですが、市原、水戸、宇都宮、大宮、横浜、柏、甲府、川崎、町田の9ゲームです。

今回はその一つ、第40節 FC 町田ゼルビア戦を観戦に行きました。関東の試合は第18節6/1の水戸ホーリーホック戦以来ですが、当時J2首位であった水戸に1-0で勝利。順位は下位に「低迷していましたが、この勝利をキッカケに切り返して7位入れ替圏内に近づいてくれ！」と、高揚したまま家路についたのを覚えています。

そんなことを思い出しながら終盤戦、第40節(11/15)のFC 町田ゼルビア戦の観戦をしてきました。ここ2年ぐらいFC 町田とは相性がよくて逆転勝ちもあり、応援する側にとっては気持ちの良い試合が多いのです。しかし、いまだJ2で15位、昨年と何か違うのかな？失点も多いし、得点力も見劣りする。どこまで戦えるか？少し不安な気持ちもありでスタジアムに到着しました。

試合開始1時間前でしたが、オレンジ色のタオルがぐるぐる回り、応援の練習に熱が入っています。しかも新しい応援歌が出現している。これはいけるか！と感じている中、試合がスタートしました。



秋晴れの強い日差しの中で…。しかし、開始そうそう3分、いきなり大ピンチです。左サイドを作った町田の選手がゴール前にクルスを入れると、そのボールを流し込まれ先制されます。レノファにとって

“悪癖”ともいえる立ち上がりの失点でした。

まだまだ！ サポーターはヒートアップします。幅と奥行きを使ってボールを動かし、町田のゴールに迫ります。ゴールチャンスは再三訪れますが、シュートに精彩を欠き、惜しくもゲームセット。選手も監督も悔しさを滲ませた試合でした。残念試合後には、サポーター席にお礼の挨拶にきます。勝利のダンスはなしです。



しかし、サポーターからの声援は暖かく、ありがとう！次は期待してるぞ！と、力強い声援をかけています。地元チームはやっぱりいいな〜と、二度、熱くなりました。

最終節の徳島ヴォルティス戦も0-3で敗戦し(12月記)、勝ち点47、13勝8分21負、得点54失点70、得失点差マイナス16で今期は終了しています。今年の勢いは消え失せ、今期は攻守ともに奮いませんでしたが、来年こそはJ1昇格を目指して入れ替え戦圏内で戦って欲しいです。



「パラバドミントンスマイルカップ2020」のご案内
(体験会と健常者も参加できるインクルーシブ大会)

大浜 三平(会員No.746)

七夕会会員の皆さんに、3月に山口市で開催するパラバドミントン大会のご案内をさせていただきます。実際にパラスポーツを見学(見学は無料です)していただくことはもちろん、パラスポーツを体験するために競技に参加していただくことも可能です。詳細は以下の開催要領をご参照ください。多くの方のご参加、ご来場をお待ちしております。

1. 目的 : パラバドミントンを通じて、心のバリアフリーを目指すことを目的とします。
2. 主催 : NPO 法人スマイルクラブ (WAM助成事業)
(2019年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)
3. 共催 : 山口県障害者スポーツ協会
4. 後援 : 山口県、山口市、山口県バドミントン協会
5. 協力 : 山口県バドミントン協会、ACT SAIKYO、千葉大学バドミントン部
6. 協賛 : ミズノ株式会社、(有)スリーブックス、(有)関西装飾
7. 日時、会場等
 - 1) 日時: 2020年3月28日(土)、29日(日) 基本的にシングルスとダブルス
※3月27日(金) 会場設営(午前中)と自由練習日(13~19時)
 - ①3月28日(土)
 - 9:30 開場・受付 10:00 開会式
 - 10:15~11:30 体験会 ※江上陽子さん(元日本代表選手)による講習会(車いす)
 - 13:00~19:00頃 試合(インクルーシブ形式) 健常者とペアを組んで参加可能
※基本的に車いすでの試合となります!
 - ②3月29日(日)
 - 9:00 開場・練習 10:00 試合 15:00頃 表彰式 16:00 解散、撤収 18:00 撤収完了
※参加者、試合状況等により、試合内容・時間等が変わる場合があります
- 2) 会場: 維新百年記念公園 維新大晃アリーナ レクチャールーム(山口市維新公園4丁目1-1)
- 3) 参加対象: 健常者も障がい者も誰でも参加可能(インクルーシブ形式)
- 4) 参加費: シングルス、ダブルス 各種目1人500円(当日現金支払い) 体験会は無料
- 5) 競技種目: シングルスとダブルス(ダブルスはペアでお申し込みください)
(参加、試合状況等により変わる場合もあります)
- 6) 競技規則: (公財) 日本バドミントン協会競技規則(附則 障害者バドミントンの規則は適用しない)及び日本障がい者バドミントン連盟特別ルールとします
- 7) 競技方法: 別途調整(申し込み数等により変更があります)
- 8) 使用シャトル: 第一種検定球
- 9) 申込、問い合わせ: スマイルクラブのホームページから申込
お申し込みは、メールでお願いします 〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29
NPO法人スマイルクラブ理事 大浜三平宛 TEL 04-7169-4183 E-mail smile-c@jcom.home.ne.jp
- 10) 申し込み締め切り: 2020年2月26日(水)
※定員50名(体験会および大会)となった場合は、上記月日より早く締め切りとなります!
- 11) 車いす運搬について
 - ①車いす送付について
3月27日(金)10~12時到着で、次の送付先までお願いします。
送付先: 〒753-0815 山口市維新公園4丁目1-1 山口県維新百年記念公園 維新大晃アリーナ
レクチャールーム パラバドミントン大会事務局 大浜三平宛(電話番号08066062927)
 - ②終了時の車いす回収時間について
回収時間は、3月29日(日) 16~18時で各自手配をお願いします!
- 12) その他:
 - ・組合せ等は、主催者一任とします。競技種目は、申込状況、内容により変更することがあります。
 - ・大会中に生じた事故・ケガについては、応急処置のみとします。ケガについては、スマイルクラブのイベント保険にて対応いたします。
 - ・本大会では宿泊先の紹介(基本的に山口市内)をしますので、ご希望の方はご連絡ください。
 - ・本事業責任者 NPO法人スマイルクラブ理事 大浜三平 連絡先 携帯08066062927
NPO法人スマイルクラブ 〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29
TEL 04-7169-4183 E-mail smile-c@jcom.home.ne.jp

事務局からのお知らせ

副会長・本部長 梶山 俊哉

= 法人会員（年会費 1 万円）を募集しています！ =

～山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています！～

○山口七夕会では、各事業年度内に原則 3 回、会員のみなさまに「山口七夕会会報」、「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は 405 名ですが、法人会員のみなさまは、各事業年度内に 1 度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。

(単純に計算しますと、切手 84 円 * 405 名 = 34,020 円のコストが年会費 1 万円の法人会費に含まれることになります。)

○今後の会員への「山口七夕会通信」などの発送は、令和 2 年 5 月及び 9 月に予定していますので、既に法人会員に登録されている方はご継続を宜しく願います。

○また、新規に法人会員を募集しますので、会員のみなさまの関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしく願います。

お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局まで願います。

<七夕会通信/原稿募集！>

(1) 事務局では、以下のテーマで原稿を募集します。

- ①「私と山口七夕会」 ～七夕会に関するエピソード等をお寄せ下さい。
- ②「私と山口」 ～山口にゆかりのある思い出や出来事をお寄せ下さい。
- ③「私の今」 ～会員の方の近況を伝える原稿をお寄せ下さい。
- ④「自由テーマ」 ～山口七夕会の活動に関連する原稿をお寄せください。

(2) 字数

多くの方々の原稿を掲載するため、1,200 字程度(写真がある場合はそのスペースを含みます)。

(3) 原稿締切り: 次回七夕会通信 5 月号に掲載を希望される方は、令和 2 年 4 月 10 日必着です。

(4) 送り先: 梶山副会長・本部長(メールアドレス: tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp)

(電子データ: Word、テキストなど願います。)

インターネットをご活用ください!

①七夕会ホームページ(<http://www.yamaguchi-tanabataikai.org/>)

検索サイトで「山口七夕会」と検索してください。

②七夕会フェイスブック

会員の皆さん限定となっています。閲覧を希望される方は、七夕会役員までご一報ください。

③山口市ファンクラブ(フェイスブック)

公開ページです。「山口市ファンクラブ」で検索してみてください。

★梶山の電子メールアドレス: tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp

山口関連の情報をお届けします。このアドレスまで「メルマガ希望」とメールをお送りください。

「山口七夕会新会員・法人会員の皆さん」

※敬称略

受付No.	氏名		
		村重酒造株式会社	村重 雅崇
		山口日産自動車株式会社	末富 健作
762	増本 義伸	旭水産有限会社	八木 政治
763	平田 康雄	情熱ホルモン山口酒場(株式会社 ヒューマンティアー)	寺崎 泰行
764	西坂 寿美子	株式会社 常盤旅館	宮川 和也
765	伊藤 孝	株式会社 地域情報新聞	垣内 太
766	伊東 正文	株式会社 毎日メディアサービス山口 周南支社	世良 宏治
767	熊澤 厚	株式会社 技工団	作間 悦次
768	小野 俊雄	日和協同組合	金澤 真弓
769	福田 智里	企業組合 アグリアートジャパン	山見 智盟
770	合志 栄一	金光酒造株式会社	金光 明雄
771	田所 誠治	有限会社劇団角笛	白石 武士
772	石村 健	オンガネジャパン株式会社	岡本 昭宏
773	稲田 亮	一般社団法人平成の萩往還・中山間地振興をめざす会	中野 勉
		山城屋酒造株式会社	宮崎 展一
		マルシフードサービス株式会社	村光 伸介
		社会福祉法人 青藍会	阿武 義人
		株式会社セブンシステム	細坂 孝彦
		株式会社光華	三原 美津子
		株式会社ベルミューズ	長尾 修志
		一般社団法人日本自動車連盟 山口支部(JAF 山口支部)	河野 信彦

会報第6号掲載分以降の
新入会員の皆さん

※会員数:405人、法人会員21社

(令和元年12月31日現在)

イベント情報【東京】

春の講演会 & 第 32 回交流会

日時: 令和 2 年 3 月 14 日 (土) 11 時～講演会、12 時 15 分～交流会

場所: 別邸福の花浜松町店 (東京都港区浜松町 2-2-6)

講演講師: 西村 弘文氏 (本部副幹事長・元航空自衛隊一等空佐)

講演タイトル: 「Blue Impulse の抑止力」

☆会員を中心とした恒例の交流会です。会員でないご家族やご友人をお誘いいただくこともできます。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

☆お申込みは、七夕会通信 1 月号に同封された出欠連絡票をご利用ください。

☆問合せ先: 梶山 (tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp / Fax 03-6800-3211)

花見 & 山口ゆかりの地を訪ねるウォーキングと懇親会

日時: 令和 2 年 3 月 28 日 (土) 9 時～(予定)

集合場所: 靖国神社・大村益次郎像の下付近(予定)

☆雨天決行

☆問合せ先 & 申込先: 梶山本部長 (tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp / Fax 03-6800-3211)

☆緊急連絡先: 山根幹事長 090-2543-1137

イベント情報【山口】

ふるさと山口本部楽農部会「徳佐の冬を楽しむ会 (地域との交流会)」

日時: 令和 2 年 2 月 8 日 (土) 午前 10 時～ (受付開始 午前 9 時 45 分)

場所: 山口市阿東地区交流センター (山口市阿東徳佐中 3425-1)

参加費: 4,500 円 (ただし、お酒を飲まない方: 4,000 円)

☆お申込みは、七夕会通信 1 月号に同封された出欠連絡票をご利用ください。

ふるさと山口本部 第 4 回「酎-Takenawa-祭」

日時: 令和 2 年 3 月 7 日 (土) 午後 6 時～9 時 (受付開始 午後 5 時 45 分)

場所: 防長苑 (山口市熊野町 4-29)

会費: 6,000 円 (3 月 6 日正午以降のキャンセルは、キャンセル代 6,000 円を申し受けます)

☆地元食材を使った料理を県内地酒とともに楽しむ会です。

☆お申込みは、七夕会通信 1 月号に同封された出欠連絡票をご利用ください。

【重要なお知らせ】

◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(七夕会通信や市報等の資料が届かなくなってしまう！)

◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続きに必要となります)

〒753-8650 山口市亀山町2番1
山口七夕会事務局(山口市企画経営課内)
TEL 083-934-2746 / FAX 083-934-2642